

集中豪雨や台風に備えて

毎年、全国各地で、台風などによる自然災害が発生しています。自分や家族の安全を守るため、気象情報に注意するとともに、日ごろから、災害への備えを心掛けましょう。

各地に被害を及ぼす自然災害

これからの季節は、台風や集中豪雨などによる災害が発生しやすくなります。

今年7月の九州北部豪雨では、人的被害はなかったものの、市内各地で道路の冠水や民家の塀の損壊などの被害が発生し、改めて自然の脅威を思い知らされました。



▲冠水した道路



▲増水した宝満川(端間橋)

台風

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

台風の大きさは「風速15m/s(メートル/每秒)以上の半径」、強さは「最大風速」で表されます。

〈台風の大きさと階級分け〉

| 階級 | 風速15m/s以上の半径 |
|-------------|-----------------|
| 大型(大きい) | 500km以上～800km未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 |

(気象庁による)

〈台風の強さと階級分け〉

| 階級 | 最大風速 |
|-------|-----------------|
| 強い | 33m/s以上～44m/s未満 |
| 非常に強い | 44m/s以上～54m/s未満 |
| 猛烈な | 54m/s以上～ |

(気象庁による)

水害から身を守るために

近年の洪水の多くは、集中豪雨や記録的な大雨により、これまでにない深刻な被害が多数発生し、その被害も年々大規模なものとなっています。

私たちが住む街もいつ大規模な水害に見舞われるかわかりません。このような事態から自らの命・家族・財産を守るため、刻々と発表される防災情報を正しく理解し、迅速な避難行動を取れるよう基礎知識として覚えておきましょう。

知っておこう!!

水位に応じた危険度

川には、水位の高さに応じた危険度があります。

宝満川端間観測所

| 水位基準値 | |
|-------|-------|
| はん濫危険 | 4.65m |
| 避難判断 | 4.0m |
| はん濫注意 | 3.6m |
| 水防団待機 | 2.4m |

水位

住民に求める行動

危険

警戒

注意

はん濫の発生

はん濫危険水位

堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位です。

避難指示の発令を検討する段階です。人的被害の発生する危険性が高い状況です

避難判断水位

避難行動を行う目安となる水位です。

避難勧告の発令を検討する段階です。通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階です。

はん濫注意水位

避難行動の準備を行う目安となる水位です。

避難準備情報の発令を検討する段階です。災害時要援護者など、避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階です。

水防団待機水位

水防団が水防活動を行うために待機する水位です。

土砂災害に備えて

近年集中豪雨による土砂災害が多発し、その被害により尊い人命が失われています。そのような土砂災害から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにして、警戒避難体制を整備し、特定の開発行為等を制限する法律が土砂災害防止法です。

土砂災害防止法に基づき平成23年度に、三国中校区内の20箇所が土砂災害(急傾斜地の崩壊)危険箇所指定されました。

●急傾斜地の崩壊の前兆現象

- ・ がけから水が吹き出す
- ・ 小石がパラパラと落ちてくる
- ・ がけからの水が濁る
- ・ がけから音がする
- ・ がけに亀裂が入る



がけに割れ目が見える。



がけから水が湧き出ている。



がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。

土砂災害防止法および土砂災害危険箇所については、福岡県砂防課のホームページでご覧になれます。

福岡県砂防課ホームページ <http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/>
 ◎問合せ先 福岡県久留米県土整備事務所河川砂防課 44-5229

災害に備えて 家族みんなが 防災会議

家族1人ひとりの役割分担

日常の予防対策上の役割と災害時の役割の両方について決める。寝たきりの高齢者、病人、小さい子どもがいる場合は、だれが保護を担当するかなども話し合う。

家屋の危険箇所チェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。放置できない危険箇所については、修理や補強の方法についても話し合う。

家具の安全な配置と 転倒防止対策

家具の配置換えによって家の中に安全なスペースをつくれないう工夫する。また、家具の転倒や落下を防ぐ方法を考え、そのため新製品などがあれば教え合う。

非常持出品のチェックと 入れ替え・補充

家族構成を考えながら必要な品がそろっているかをチェックする。定期的に新しいものと取り替える必要があるもの(使用期限のある非常食、水、乾電池など)は、だれが担当するかなども話し合う。

災害時の連絡方法や 避難場所・避難経路の確認

家族が離ればなれになった時の避難場所を確認する。避難コースの危険箇所についても話し合い、できれば休日などを利用して、散歩を兼ねてみんなで見学しておく。

安否確認などの連絡に NTT災害用伝言 ダイヤル

171

ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

家族間や知人間などの連絡に活用できます。

市外局番からダイヤルしてください。

伝言の
録音方法

171

ガイダンスが流れます

(000) 0000 - 0000

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

伝言の
再生方法

171

ガイダンスが流れます

(000) 0000 - 0000

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

「防災メール・まもるくん」に登録しましょう

メール登録無料

防災情報等メール配信システム

防災メール・まもるくん

災害時の情報等をメールであなたにお知らせします。

◎登録方法 mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
 に空メールを送信し、その返信メールの内容に従って登録してください。
 こちらのアドレスやQRコードからも登録できます。
<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp>



「防災メール・まもるくん」とは

- ・ 小郡市における地震・台風・大雨等の防災気象情報や避難勧告の情報
 - ・ 災害時の安否情報
 - ・ 小郡市近郊の犯罪などの地域の安全に関する情報
- などの情報がメールにより登録された人の携帯電話に配信されます。

※小郡市における7月末現在の登録者は1,588人です。